

## I 協議の経過

明日の大江の学校を考える会

月日	会議名	内容
8月9日	第1回会議	会の体制、今後の進め方
9月2日	正副会長会	運営方法、協議の進め方
9月7日	第2回会議	3小学校における現状と課題、小中一貫校の制度内容
9月15日	正副会長会	教育委員会への資料作成依頼等(市役所)
9月29日	第3回会議	小学校の統合、小中一貫校について意見交換
10月7日	正副会長会	協議経過の検討、今後の進め方、視察研修案
10月11日	第4回会議	視察研修、小中一貫校について意見交換
11月1日	視察研修	綾部市東綾小中一貫校(小学校・中学校)
11月7日	第5回会議	会としての方針の決定、説明会、要望内容
11月14日	正副会長会	要望書案の作成
11月27日	第6回会議	要望書、説明会、今後の会のあり方
12月13日	正副会長会	説明会資料の作成

- ・「明日の大江の学校を考える会」は、各地区代表自治会長、学校統合協議会(PTA・保護者会)のほか、公民館、民児協、老連、まち協から計20名を委員として設置した。
- ・はじめに、各委員の学校再編に対する意見を出し合うところから協議を進めた。また、委員それぞれに学校再編への理解の違いもあり、基礎認識をそろえた上で協議を深めることとし、小学校の現状や課題を聴取するとともに、制度上の研究も行ってきた。
- ・協議において、小学校の統合については、児童生徒数が減少を続け複々式学級が見込まれることや、住民説明会において統合は止むを得ないとの意見が多く出されたことなどから、統合する方向に意見がまとまった。
- ・小中一貫校(施設一体型)については、委員の中でもその内容が実感として理解ができないことも含め、意見が分かれた。

#### 小学校のみの統合とする意見

- ・現美河小学校へ統合するのであれば、すぐに統合ができるし費用もかからない。
- ・小学1年生と中学3年生が一緒というのは不安であり必要性も感じない。

#### 小中一貫校の設置とする意見

- ・学校統合をするなら学校施設など教育環境の整備とともに進めてほしい。
  - ・小中一貫教育については、これまでも進められてきているが、小中一貫校(施設一体型)にすることで、より有効に推進できるのではないか。
  - ・中学校周辺に学校施設を整備することは、住民の理解も得やすいと考えられ、誇りえる教育環境整備や小中一貫教育の推進が望めるのではないか。
- ・ 協議を重ねるなか、委員個々の意見も出尽くす状況もあり、小中一貫校の視察を行ったうえで、会としての方向を決定することとした。
  - ・ 視察は教育委員会の協力を得て、綾部市の東綾小中一貫校(小学校・中学校)で実施した。視察先は旧来の施設と新しい施設を融合させ広々とした印象を与える施設となっており、教室や休憩時間の遊び場も成長段階に考慮した配置が行われていた。また小中一貫教育も緩やかに進められているという状況の説明を受け、費用は掛かるが大江地域にもこのような学校をつくることができればとの感想を持った。
  - ・ 会としての方向については、学校の施設整備を条件とするなどの意見も含めて、「大江地域に小中一貫校の設置」をという意見が多数となり、小中一貫校の設置に向けて要望を行うことに決定した。
  - ・ 要望内容について、小中一貫校の開校に向けての個々の詳細については、専門的な立場も含め準備委員会で検討されることから、大筋の内容での要望書を取りまとめることとした。  
また、協議をしてきた中で、施設整備など特に強く求める内容については、会としての意見を要望書に付すこととした。
  - ・ この会は、開校に向けた準備委員会が設置されるまで、存続し協議を行うこととした。

## Ⅱ 協 議 結 果

賛成多数により、大江中学校周辺を整備し「大江地域に小中一貫校の設置」を要望することに決定した。

## Ⅲ 要 望 内 容 （ 素 案 ）

要望書は、詳細については準備委員会で検討されることから、大筋での内容とし、次の5項目とする。

- 1 大江地域の3小学校を統合し、統合した小学校（仮称：大江小学校）を平成32年4月に開校されたい。
- 2 統合した小学校は大江地域の誇れる学びの拠点として整備し、大江中学校とともに小中一貫教育を推進されたい。
- 3 学校の施設設備については、約300名（小学生約200名、中学生約100名）の児童生徒数であることを鑑み、小学校・中学校双方の学びを支える施設環境にされたい。
- 4 小中一貫校の開校にあたっては、地域住民、保護者、学校関係者等で構成する組織を設置し、円滑な統合・開校に向けた準備に努められたい。
- 5 閉校後の跡地については、大江地域全体の振興の視点も踏まえ、地元自治会と十分協議し、活用を図られたい。

※ 協議の中で、施設整備など特に強く求めるべきとした内容については、会として意見を付す。

平成29年5月1日現在の児童数・学級数の予想推移

教育委員会提供資料から

美河小学校	児 童 数							学 級 数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
平成29年度	20	22	19	20	23	25	129	1	1	1	1	1	1	6
平成30年度	24	20	22	19	20	23	128	1	1	1	1	1	1	6
平成31年度	18	24	20	22	19	20	123	1	1	1	1	1	1	6
平成32年度	26	18	24	20	22	19	129	1	1	1	1	1	1	6
平成33年度	18	26	18	24	20	22	128	1	1	1	1	1	1	6
平成34年度	18	18	26	18	24	20	124	1	1	1	1	1	1	6

美鈴小学校	児 童 数							学 級 数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
平成29年度	3	6	4	5	4	8	30	1	1	1	1	1	1	5
平成30年度	4	3	6	4	5	4	26	1	1	1	1	1	1	5
平成31年度	4	4	3	6	4	5	26	1	1	1	1	1	1	5
平成32年度	1	4	4	3	6	4	22	1	1	1	1	1	1	4
平成33年度	1	1	4	4	3	6	19	1	1	1	1	1	1	4
平成34年度	5	1	1	4	4	3	18	1	1	1	1	1	1	4

有仁小学校	児 童 数							学 級 数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
平成29年度	8	5	13	6	4	6	42	1	1	1	1	1	1	5
平成30年度	4	8	5	13	6	4	40	1	1	1	1	1	1	5
平成31年度	7	4	8	5	13	6	43	1	1	1	1	1	1	5
平成32年度	5	7	4	8	5	13	42	1	1	1	1	1	1	5
平成33年度	6	5	7	4	8	5	35	1	1	1	1	1	1	5
平成34年度	5	6	5	7	4	8	35	1	1	1	1	1	1	5

3小学校計	児 童 数							学 級 数 ( 想 定 )						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
平成29年度	31	33	36	31	31	39	201	1	1	2	1	1	2	8
平成30年度	32	31	33	36	31	31	194	1	1	1	2	1	1	7
平成31年度	29	32	31	33	36	31	192	1	1	1	1	2	1	7
平成32年度	32	29	32	31	33	36	193	1	1	1	1	1	2	7
平成33年度	25	32	29	32	31	33	182	1	1	1	1	1	1	6
平成34年度	28	25	32	29	32	31	177	1	1	1	1	1	1	6

大江中学校 平成29年5月1日現在の生徒数

教育委員会HP資料から

大江中学校	1年	2年	3年	計
H29.5.1現在	32	29	33	94